

はしもととしょかん こどもしんぶん 第242号

ほんのもり

2026年冬号

今年は
うまだし!



えほん E/バ

『はたらくうまのハンバートとロンドン市長さんのはなし』

ジョン・バーニング／さく 神宮輝夫／やく 童話館出版

ハンバートはくすてつあつめのファーキンさんの荷車を引く馬でした。いつもみじめな気持ちでいるハンバートでしたが、ある日、新しいロンドン市長をお祝いする行列で、市長の馬車の車輪がこわれてしまった時に、ハンバートは大きくなります。

発行：相模原市立橋本図書館

TEL：042-770-6600

FAX：042-770-6601

2026年1月発行



「ほんのもり」は、子どもと本をつなぐことを目的とした
橋本図書館が発行することも向けしんぶんです。

しょうがっこうでいがくねん
小学校低学年～



えほん **オレE/空**『バレレッタのふしぎな大おとこ』

トミー・デ・パオラ／再話・絵 福本友美子／訳
光村教育図書

イタリアのバレレッタという町の教会の前に、とても大きなわかももの像がたっていました。まちの人はその大おとこの像が大好きでした。大おとこが町を救ったと言われているからです。さあ、どうやって救ったのでしょうか？

あたらしい ほん 新しく入った本のしょうかい



ちゅう
小学校 中学年～

えほん **E/ズ**『ラクダで塩をはこぶ道』

エリザベス・ズーノン／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房



アフリカのマリ共和国のタウデニでは、多くの塩が採れます。10数頭のラクダに塩をのせ、750キロ離れたトンブクトゥという町まで運びます。塩は人間にはかせない貴重なものです。少年は初めて参加する危険な旅の中で、塩の大切さを知ります。

よみもの **J933/ムーア**『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』

リリアン・ムーア／作 レオネ・アデルソン／作
Keisaito／絵 小宮由／訳 さ・え・ら書房
小学校 中学年～

マイヤーさんは、のら犬や家で飼えなくなった犬を黒いトラックにのせて、どこかへつれて行ってしまいます。そのあと、犬たちがどうなるのか町の人たちは誰も知りません。ところが、ノディンさん家のやっかいな犬バターボールのおかげで、マイヤーさんのひみつのなぞがあかされるのです。



よみもの **J913/よしの**『白い虹を投げる』

吉野万里子／作 黒須高嶺／絵 Gakken
小学校 高学年～

ヤヤと葉央は同じ野球チームの仲間でしたが、6年生になる時、ヤヤは家の都合で引越してしまいます。別々のチームでプレイすることになった二人は、メールでお互いのチームや家族の悩みについてはげましあい、友情を深めていきます。野球をやったことが無くても楽しく読める物語です。



しらべるほん **J43**『水のかたち』

増村征夫／文・写真 福音館書店
小学校 中学年～



水は、雨になったり、雲になって空に浮かんだりします。寒くなると、氷や霜柱、雪にもかたちをかえます。雪の結晶をよく見ると、ひとつひとつかたちがちがいます。季節によってかわる、水のかたちを紹介した写真絵本です。

しらべるほん **J64**『みんなで見守る地域猫』

高橋うらら／文 金の星社
小学校 高学年～



その地域に住んでいる人がごはんをあげたりトイレを作ったり掃除をしたり、子猫を生みすぎないように病院に連れて行ったりして、お世話をしているノラ猫のことを「地域猫」といいます。猫と人が仲良く暮らせるように、猫の保護活動を広めた神奈川県、黒澤さんの仕事を紹介しています。

ほかにも馬のほん！



キバラカと魔法の馬

アフリカからしるはなし
著くまゆみこ／編訳



よみもの

J908／むかし話『キバラカと魔法の馬』

さくまゆみこ／編訳 岩波書店

アフリカ大陸各地に伝わる民話の中から、ふしぎな魔法や精霊が出てくる13のおはなしを集めた民話集です。

しらべるほん

J64『ウマと話すための7つのひみつ』

河田棧／文と絵 偕成社



ウマと
話すための
7つのひみつ

河田棧

馬と話せたら楽しいでしょうね。馬は耳や鼻、脚、しっぽを使って“馬語”を話しているんだって！
“馬語”にはどんなひみつがあるのかな？

～イベントのお知らせ～



むかしあそびを楽しもう！



日にち：令和8年1月10日(土)

場所：橋本図書館 こどものほんのコーナー

●さがみはら郷土かるた大会

1回目：午後2時から／2回目：午後2時30分から

対象：幼児から小学生まで 定員：各回5組（先着順）

●ふくわらい／あやとり／はなごまなど

くわしくは館内ポスター・チラシなどをごらんください。

あそびに
きてね！

